

# 飼料価格高騰に係る対策について(養豚)

目指すのは

飼料ロスの低減  
飼料効率の向上  
生産性の向上 (事故率低減)

日常の管理において、  
どこでどのように  
飼料が無駄になっている  
かを考え、意識して  
取り組んでみましょう

## ① 食いこぼしや無駄餌の防止のために

- ・ **少量の餌を頻回給与**することで、食いこぼしを防止しましょう
- ・ 必要量より少なめの量を給与して、こぼれ餌もしっかりなめとらせたあと、残りの量を追加給餌しましょう
- ・ 飼料の切り替えは日齢で決めるのではなく、**体重で判断**しましょう  
(目安として、肥育前期飼料30kg、肥育後期飼料70kg)
- ・ 食いこぼし防止装置付きのフィーダーを導入するのも効率的です
- ・ 一律に豚が餌を食べられるように、**餌槽の口数を増やしましょう**



餌の切り替えタイミングの見極めは体重で判断しましょう



一度に大量の飼料を給与すると食いこぼしが増えてしまいます

ポイント

餌の切り替え時期は日齢で判断せず、  
豚の体重を把握し、必要な餌量を無駄なく給与する  
こまめな管理が必要です

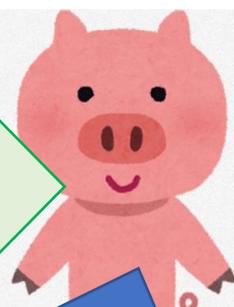
## ② 飼料効率の向上のために

- ・ **給水器の点検（水圧・清掃）** をこまめに行い、豚が新鮮な水を常に飲めるようにしましょう
- ・ **必要な時期に必要な餌をしっかりと給与** しましょう
- ・ 増体を良くするためにも **疾病対策** をしっかりとりましょう
- ・ 餌槽内はこまめに清掃し、常に清潔な状態を保ちましょう

哺乳期 1～5kg	離乳期 5～10kg	育成期 10～30kg	肥育期 30～115kg
--------------	---------------	----------------	-----------------

ポイント

子豚用の飼料（えづけ飼料など）は値段が高いですが、この時期は体を作る大事な時期です。健康な豚を作ってしっかりと出荷までたどりつくためにも、ここは餌の量を削ってはいけません。十分な量を十分な期間、しっかりと給餌しましょう。



ここで栄養が不足してしまうと、子豚の事故や栄養不足・発育不良につながり、結局は収益が落ちる原因となってしまいます。

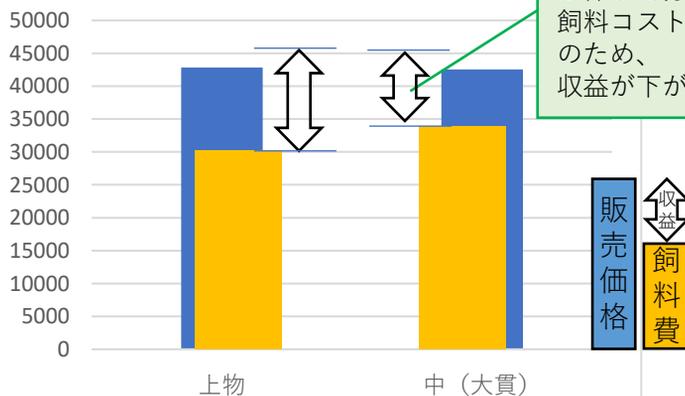
## ③ 適正な体重で出荷

- ・ 体重オーバーでの出荷は大貫となり **格落ちによる経営の損失** が大きくなります
- ・ **体重測定** をして出荷する豚を決めましょう
- ・ 体重推定システムや体重推定アプリを導入することで、労力低減しながら適正出荷に努めることができます



近年様々な体重推定のシステムやアプリが登場しています。導入する場合は自分の農場にあったものを採用しましょう

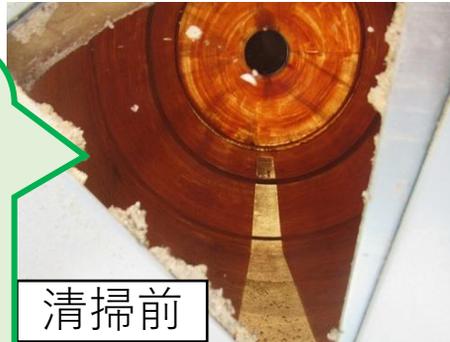
販売価格と飼料費の比較



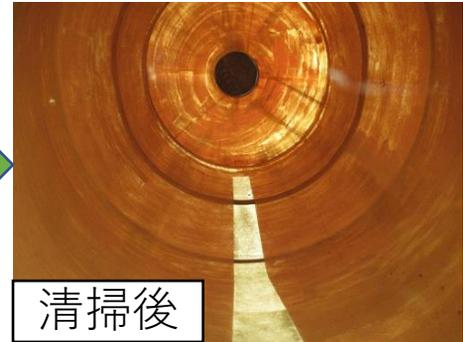
## ④飼料タンクの管理

- ・ 飼料タンクが空になるタイミングまたは少なくなった時に内部を確認し、こびりついた餌の塊をしっかりと落としてから次の飼料をいれましょう
- ・ 暑熱期は飼料タンクにカバーを掛けるなど、**タンク内の温度上昇を防ぐ対策**をしましょう
- ・ 飼料にカビ等が生えないように、定期的にタンクのメンテナンスを行い、雨水の流入等に注意しましょう

残った餌の塊にカビが繁殖したり、その塊が原因で飼料搬送ラインが詰まることもあります。可能ならタンク内を洗浄し、しっかり乾燥させてから次の餌を入れると、なお良いでしょう。



清掃前



清掃後

暑い時期は、タンクの中も高温になり、中の餌が変質してしまいます。断熱シートで覆うなど、タンク内の温度上昇を防ぐ対策をしましょう。



## ⑤生産性向上のために

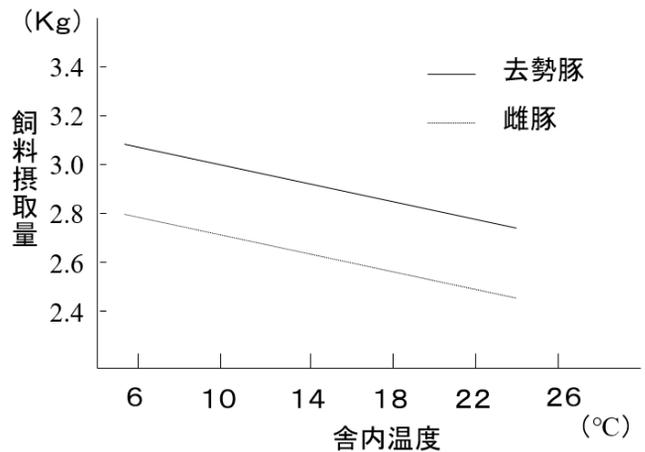
- ・ 生産性向上のポイントは、事故率低減です。子豚と肥育豚は**毎日しっかり観察**し、異常があればすぐ対応しましょう。また、離乳直後や移動直後など事故の起きやすいタイミングでしっかり対策しましょう
- ・ 妊娠期間中の栄養管理に注意しましょう
- ・ 分娩時、子豚が生まれて20分以上たっても次の子豚が娩出しない場合（間隔が長い場合）は介助を行いましょう
- ・ 哺乳子豚に対しては**保温を実施**しましょう
- ・ **初乳は確実に飲ませましょう**。産子数が多い場合は分割授乳や初乳を絞って飲ませる等の対応をしましょう
- ・ 母乳にありつけない弱い子豚は追加哺乳をしたり、里子に出すなどの対策をとりましょう
- ・ 豚舎内にアンモニアが滞留しないように注意しましょう。また、必要な酸素量がしっかり供給できるよう、**空気のチェックと換気**を行いましょう

## ⑥その他の飼養管理

- ・母豚のBCSは3を基本に、太りすぎ、痩せすぎのないように管理しましょう
- ・BCSは見る人によって判断が分かれる場合もあるので、リーンメーターによる背脂肪の測定も効果的です（17～18がBCS 3に相当）
- ・寒冷条件下においては体の脂肪が熱産生のため消費され、多くの餌を必要とする状態になってしまいますので、寒い時期には寒さ対策を行いましょ
- ・暑熱条件下においては、暑熱対策を行いましょ



リーンメーターによる測定



肥育豚の舎内温度と飼料摂取量  
(北海道大学 秦寛)

### 問い合わせ先窓口

【 中部地区 】	中部農業改良普及センター	0 9 8 5 - 3 0 - 6 1 2 1
【 南那珂地区 】	南那珂農業改良普及センター	0 9 8 7 - 2 1 - 9 5 5 0
【 北諸県地区 】	北諸県農業改良普及センター	0 9 8 6 - 3 8 - 1 5 5 4
【 西諸県地区 】	西諸県農業改良普及センター	0 9 8 4 - 2 3 - 5 1 0 5
【 児湯地区 】	児湯農業改良普及センター	0 9 8 3 - 4 3 - 2 3 1 1
【 東臼杵地区 】	東臼杵南部農業改良普及センター	0 9 8 2 - 6 8 - 3 1 0 0
	東臼杵北部農業改良普及センター	0 9 8 2 - 3 2 - 3 2 1 6
【 西臼杵地区 】	西臼杵農業改良普及センター	0 9 8 2 - 7 2 - 2 1 5 8
【 県域 】	総合農業試験場専門技術センター	0 9 8 5 - 4 4 - 1 6 2 0
	宮崎県畜産振興課	0 9 8 5 - 2 6 - 7 1 3 8